

具体案

ロゴ案



防災クイズ
TEAM-5



防災クイズ
TEAM-5

①楽天トラベルを用いた手法

空いているホテルを管理: 楽天トラベル
ホテル密度に基づく避難施設の整備状況
避難ルート表示: 楽天トラベル、google map

②楽天会員へのポイント付与

将来展望→「楽天防災」

大きい共同体の防災訓練→内容をクイズにする ポイントなどの特典を付加
意識を高めるためにゲーム形式で必要な備蓄や避難ルートを説明する
→自宅や職場の避難計画を作成するチャレンジを開催し、計画を完成させたユーザーに楽天ポイントを付与

★防災訓練クイズキャンペーン「クイズに全問正解して、ポイント2倍！」

答え「懐中電灯」→下の部分に楽天市場の懐中電灯リンクを張る

答え「防災料理」→楽天レシピのリンクなりAPIなりを張る

防災の日を利用した「防災商品のポイントセール」防災用品購入でポイント2倍キャンペーン
ユーザの備蓄リスト管理: 他のユーザの備蓄リストを見て不足分を把握or推薦する

以下みたいな感じでポイント付与

 +0.5倍 Rakuten Fashionアプリ	Rakuten Fashionアプリで Rakuten Fashion商品を月1回1 注文5,000円以上お買い物 <small>送料別、クーポン割引後の税込金額</small>		購入後1時間程度 <small>(Rakuten Fashionアプリから、対象商品 した場合には、常時反映)</small>
 +0.5倍 楽天ビューティ	月1回3,000円以上ご利用 <small>クーポン割引後の税込金額</small>	予約申込み月の楽天市場でのお買 い物金額	予約後1時間程度

③その他(どうやってサービスと関わらせるか未定)

備蓄リストを分析してシェア
災害時の物資共有、在庫共有(ドローン)
家族との情報共有(シニア)

AIやデータ分析を用いる

解決したい課題 (Issue)

- ①→避難所の混雑解消
- ②→防災意識向上

【今日の最低限目標】

②楽天会員へのポイント付与
将来展望→「楽天防災」

大きい共同体の防災訓練→内容をクイズにする ポイントなどの特典を付加
意識を高めるためにゲーム形式で必要な備蓄や避難ルートを説明する
→自宅や職場の避難計画を作成するチャレンジを開催し、計画を完成させたユーザーに楽天ポイントを付与

★防災訓練クイズキャンペーン「クイズに全問正解して、ポイント2倍！」

答え「懐中電灯」→下の部分に楽天市場の懐中電灯リンクを張る
答え「防災料理」→楽天レシピのリンクなりAPIなりを張る

防災の日を利用した「防災商品のポイントセール」防災用品購入でポイント2倍キャンペーン
ユーザの備蓄リスト管理:他のユーザの備蓄リストを見て不足分を把握or推薦する

以下みたいな感じでポイント付与

①楽天サービスを用いた以下を満たすアイデアの構築

楽天サービスとどう連携してどう解決するか (How to Solve)

楽天ポイントを

ターゲットユーザー (Target User)

言語

React, java, Flask

HTML

【明日(2日目)以降作成するプロダクト】

優先行動テーマ①「災害リスクの理解」

解決したい課題 (Issue)

・「災害への知識不足解消、防災意識の向上」

楽天サービスとどう連携してどう解決するか (How to Solve)

・クイズに正解すると楽天市場での買い物でポイント〇〇倍という形をとって、あまり防災に興味のない人にも「災害への知識不足解消」や「防災意識の向上」を促す。また、防災関係のクイズの答えに「楽天市場の商品」や「楽天レシピ」の情報を絡ませることも狙いの一つとなっている。

ターゲットユーザー (Target User) 「ポイントが欲しい楽天市場利用者 & 防災知識を高めたい楽天会員」

必要な機能 (数字は機能優先順位)

- ①・クイズ
- ②・防災に関する解説
- ③・解説と他の楽天サービスと絡ませる

プロダクト概要を決める (Product Overview)

- ・楽天市場のバナーなどに表示
- ・楽天市場から遷移

【今日(1日目)の目標】

②System Design

役割分担、要件定義、環境構築etc

【開発環境】

開発環境: React, HTML, CSS, JavaScript

環境: local

【参考にしたReactのWeb解説ページ】

【仕様書】

- ・タイトル画面を作成
- ・

【実装優先度 & 仕様書】

高:

基本的な仕様書

- ・(済)クイズ機能(n択クイズ) デザイン、実装、クイズと解説の作成
 - ・(済)タイトル画面
 - ・「クイズに挑戦」(クイズ問題画面に遷移)、「楽天市場に戻る」ボタン
 - ・(済)クイズ問題画面
 - ・問題文、選択肢(ボタン)
 - ・選択肢(ボタン)を押したらその問題の正解/不正解、**選んだ選択肢**、解説が表示。不正解の場合は選んだ選択肢に加えて、本当の正解が表示
 - ・正解/不正解マークは選択肢と被らないように
 - ・選択肢(ボタン)は1度しか押せない
 - ・選択肢を選んだ後に「次の問題へ行く」(ボタン)が表示。最後の問題の場合は「結果を表示」にする
 - ・(済)総合結果画面
 - ・正解数、「もう一度やる」、「タイトルに戻る」ボタン

中:

- ・(済)関連する商品のリンクをクイズ問題画面の解説部分に表示する
 - ・url はとりあえず各クイズに固定で紐づける
 - ・商品のリンクをクリックすれば現在のタブではなく新しいタブで開く
 - ・楽天市場や楽天レシピのリンクは、問題と関連がある場合のみに表示する
→DataBaseにkeyword定義しておく
- ・(済)クイズ用データセット作成(jsonファイル形式で保存、読み込み)
 - ・reactから直接いじる (時間があればMysql&Node.js, 技術的に苦労したところ)
 - ・クイズ情報: ID(int), クイズ問題文(dict{問題文(text), 正解/不正解フラグ(bool)}), 解説文(text), キーワード(keyword: text), 関連する商品のurl(list(text): 動的に取得する場合はなくてもよい)
→DataBaseを使うとクイズの追加が楽
 - ・(追加) SQLにログインできないときに遅くなる、2,3秒程度でタイムアウトする
 - ・(済)データベースからランダムでk件抽出するようにする(デフォルト:k=5)
- ・(済)ポイント付与を総合結果画面に表示
 - ・一定の条件でポイント付与演出が表示

低:

- ・ログイン情報の取得、実際のポイント付与
 - ・ログイン画面
 - ・ユーザ情報: ID(int), 名前(text), 現在のポイント(int)
- ・(済)商品のリンクをAPIで適応的に取得する
 - ・キーワードを使用して楽天のapiを呼び出す
 - ・APIからデータを処理する
 - ・上位k件を取得して表示(k=3?)

- ・(追加)商品をボタンで横スクロールして表示するならば「3/5ページ」のような現在のページ数
が分かる表記が欲しい

- ・関連するレシピのリンクをクイズ問題画面の解説部分に表示する
p.s レシピのapiも使われれば、商品とレシピを区別するためのキーが必要
"category": "product", "recipe"

- ・クイズ機能、種類の拡張

- ・記述問題:クイズ情報を変更:クイズ問題文(text), 解答(text)
- ・複数難易度

- ・ランキング機能の追加

- ・(済)総合結果画面での問題の振り返り機能

- ・デザイン(★:優先度高)

- ・ロゴ(ホーム画面だけでなく各スライドの上部分にも入れたい)★
- ・タイトル★
- ・ホームの説明イラスト(「問題を解く」→「楽天ポイントゲット!」みたいな)
- ・正解演出(ファンファーレ的なアニメーション)
- ・正答、解説表示を見やすく(解説は幅を狭くして左揃え)★
- ・総合結果画面の問題を順番に表示して得点が加算していく演出

将来の展望:

- ・AIを用いたユーザの興味の分析、出題

- ・楽天防災

クイズ以外にも、ユーザの備蓄リスト管理機能や避難経路確認機能追加
将来的には、「楽天防災」とかAIを使ったシステムを作るようにしたい

【明日(2日目)やること】

- ・React環境構築

- ・ディレクトリ構造決定

- ・基礎的な所は横並びで開発(～2日目14:00くらい)

- ・クイズ1個くらい

- ・その後それぞれで分担して開発(2日目14:00くらい～)

- デザイン、実装、db

【楽天API】

アプリID/デベロッパーID

(applicationId / developerId)

1077188838370490177

application_secret
9eae36a21384d885d8aae4315c203d3cdba3355e

アフィリエイトID
(affiliateId)
3f2e53eb.27dd2621.3f2e53ec.a9890b6d

コールバック許可ドメイン
github.com

【3日目】

各自作業の続きを行う
React班
昼食後、再度統合

【防災クイズ参考】

第1問 緊急地震速報が鳴った場合、最初にすべきことは何でしょう？

- ①：机の下や物が無い場所に逃げる ②：火を消してガス栓を閉める ③：走って屋外に避難する
④：家具が倒れないようにおさえる

Keyword：Null

Category：Null

答え：①

解説：緊急地震速報が鳴ってから強い揺れが来るまでの時間は、数秒～数十秒と言われているため、瞬時に身の安全を確保することが何より重要です。

また、机など隠れる場所がない場合は、大きな家具や窓ガラスなどから離れる事を心がけましょう。

第2問 地震の揺れがおさまった後にすべきことは何でしょう？

①：火がつくかどうかを確認！ ②：ドアや窓を開けて、脱出口を確保！ ③：とにかく外へ避難するために、家を飛び出す ④：壊れた家具や物を整理する

Keyword：Null

Category：Null

答え：②

解説：揺れがおさまったら、あわてずに避難経路を確保することが重要です。倒壊物によるケガに気をつけながら、ドアや窓を開けて、脱出口を確保しましょう。

また、ガス漏れが起こっている可能性もあるので、火はつけずに異臭がないかを確認し、ガスの元栓を締めておいた方が良いでしょう。

第3問 大人ひとりが1日に必要な飲料水は何リットルでしょう？

①：1リットル ②：3リットル ③：5リットル ④：10リットル

Keyword：備蓄水

Category：product

答え：②

解説：手洗い用などの生活用水とは別に、大人はだいたい1日3リットルの飲料水が必要と言われています。

第4問 南海トラフなどの巨大地震に備えて、最低約何日分の非常食を用意するのが良いでしょう？

①1日分 ②3日分 ③1週間分 ④1ヵ月分

Keyword：非常食

Category：product

答え：③

解説：これまで自治体では、最低3日分の非常食の備えを推奨してきました。しかし、超広域に被害が予測される南海トラフ巨大地震などに備えるため、1週間分以上の確保が必要となっています。

第5問 水またはお湯を注ぐだけで食べられる、今や非常食のスタンダードと言われるご飯の名前はなんでしょう？

①アルファ米 ②干飯 ③ベータ米 ④蒸し米

Keyword：アルファ米

Category：product

<https://recipe.rakuten.co.jp/recipe/1850014643/>

<https://recipe.rakuten.co.jp/recipe/1850014667/>

答え：①

解説：もともとアウトドア用品だったアルファ米。お米が主食の日本人にとって、なくてはならない非常食のひとつです。最近では、五目ごはんやピラフなど、いろいろな味が発売されています。

~~~~~

[https://www.rescuenow.co.jp/blog/column\\_20230714](https://www.rescuenow.co.jp/blog/column_20230714)

アルファ米の調理方法として正しいものはどれですか？

- A) 電子レンジで加熱する
- B) フライパンで炒める
- C) 水やお湯を注いで戻す
- D) そのまま食べる

水やお湯を注ぐだけで食べられるご飯の名前は？

①アルファ化米

②ベータ化米

防災レシピ(アルファ米)

<https://recipe.rakuten.co.jp/recipe/1850014667/>

【現時点でのSQL用データ】

-- questionsテーブルの作成

```
CREATE TABLE questions (  
  id INT AUTO_INCREMENT PRIMARY KEY,  
  content TEXT NOT NULL,  
  explanation TEXT NOT NULL,  
  keyword TEXT NOT NULL,  
  url TEXT NOT NULL,  
  created_at DATETIME DEFAULT CURRENT_TIMESTAMP,  
  updated_at DATETIME DEFAULT CURRENT_TIMESTAMP ON UPDATE  
  CURRENT_TIMESTAMP  
);
```

-- choicesテーブルの作成

```
CREATE TABLE choices (  
  id INT AUTO_INCREMENT PRIMARY KEY,  
  questionID INT NOT NULL,  
  content TEXT NOT NULL,  
  isAnswer BOOLEAN NOT NULL,  
  created_at DATETIME DEFAULT CURRENT_TIMESTAMP,
```

```
updated_at DATETIME DEFAULT CURRENT_TIMESTAMP ON UPDATE
CURRENT_TIMESTAMP,
FOREIGN KEY (questionID) REFERENCES questions(id) ON DELETE CASCADE
);
```

-- questionsテーブル

```
INSERT INTO questions (content, explanation, keyword, url) VALUES
```

('緊急地震速報が鳴った場合、最初にすべきことは何でしょう？', '緊急地震速報が鳴ってから強い揺れが来るまでの時間は、数秒～数十秒と言われているため、瞬時に身の安全を確保することが何より重要です。また、机など隠れる場所がない場合は、大きな家具や窓ガラスなどから離れる事を心がけましょう。', '', ''),

('地震の揺れがおさまった後にすべきことは何でしょう？', '揺れがおさまったら、あわてずに避難経路を確保することが重要です。倒壊物によるケガに気をつけながら、ドアや窓を開けて、脱出口を確保しましょう。また、ガス漏れが起こっている可能性もあるので、火はつけずに異臭がないかを確認し、ガスの元栓を締めておいた方が良いです。', '', ''),

('大人ひとりが1日に必要な飲料水は何リットルでしょう？', '手洗い用などの生活用水とは別に、大人はだいたい1日3リットルの飲料水が必要と言われています。', '備蓄水', ''),

('南海トラフなどの巨大地震に備えて、最低約何日分の非常食を用意するのが良いでしょう？', 'これまで自治体では、最低3日分の非常食の備えを推奨してきました。しかし、超広域に被害が予測される南海トラフ巨大地震などに備えるため、1週間分以上の確保が必要となっています。', '非常食', ''),

('水またはお湯を注ぐだけで食べられる、今や非常食のスタンダードと言われるご飯の名前はなんでしょう？', 'もともとアウトドア用品だったアルファ米。お米が主食の日本人にとって、なくてはならない非常食のひとつです。最近では、五目ごはんやピラフなど、いろいろな味が発売されています。', 'アルファ米', '');

-- choicesテーブル

```
INSERT INTO choices (questionID, content, isAnswer) VALUES
```

-- Question 1

(1, '机の下や物が無い場所に逃げる', TRUE),

(1, '火を消してガス栓を閉める', FALSE),

(1, '走って屋外に避難する', FALSE),

(1, '家具が倒れないようにおさえる', FALSE),

-- Question 2

(2, '火がつくかどうかを確認！', FALSE),

(2, 'ドアや窓を開けて、脱出口を確保！', TRUE),

(2, 'とにかく外へ避難するために、家を飛び出す', FALSE),

(2, '壊れた家具や物を整理する', FALSE),

-- Question 3

(3, '1 リットル', FALSE),

(3, '3 リットル', TRUE),

(3, '5 リットル', FALSE),

(3, '10 リットル', FALSE),

-- Question 4

(4, '1日分', FALSE),

(4, '3日分', FALSE),  
 (4, '1週間分', TRUE),  
 (4, '1ヵ月分', FALSE),

-- Question 5

(5, 'アルファ米', TRUE),  
 (5, '干飯', FALSE),  
 (5, 'ベータ米', FALSE),  
 (5, '蒸し米', FALSE);

|                 |                                                                                                                                              |                                                                                                                                                                                                                                                                                         |
|-----------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| Idea Discussion | <p>どんなアプリを開発するか、アイデアを議論する時間です。</p> <p>資料にまとめて(※)メンターのチェックを受けてください。</p> <p>目標：System Designに進められる状態</p>                                       | <p>&lt;資料 必須項目&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>優先行動テーマ</li> <li>課題の特定 (モデル案あり)</li> <li>ターゲットユーザー (モデル案あり)</li> <li>プロダクト概要説明</li> <li>プロダクトに必要な機能一覧</li> <li>機能優先順位</li> <li>画面遷移図 (画面遷移図が記載されているURL可)</li> </ul> <p>スライド P27-P32 を参照</p>                               |
| System Design   | <p>開発に向けて、システムデザインを行う時間です。</p> <p>資料にまとめて(※)メンターのチェックを受けてください。</p> <p>目標：開発に進められる状態。</p> <p>System Design Reviewで決めた分担を元に次の開発のスケジュールを確認。</p> | <p>&lt;資料 必須項目&gt;</p> <p>役割分担等の決定</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>メンバー毎の役割定義</li> <li>メンバー毎のラフスケジュール</li> </ul> <p>チーム開発に必要なもの</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>チーム内の開発ルール</li> <li>システム概要図</li> <li>データフロー</li> <li>言語</li> <li>開発環境</li> <li>フレームワーク</li> </ul> |

|            |                 |                                                                                                                                                                                                                                         |                                                                                                                                                                                                                                                                                         |
|------------|-----------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| チームZoomで開催 | Idea Discussion | <p>どんなアプリを開発するか、アイデアを議論する時間です。</p> <p>資料にまとめて(※)メンターのチェックを受けてください。</p> <p>目標：System Designに進められる状態</p>                                                                                                                                  | <p>&lt;資料 必須項目&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>優先行動テーマ</li> <li>課題の特定 (モデル案あり)</li> <li>ターゲットユーザー (モデル案あり)</li> <li>プロダクト概要説明</li> <li>プロダクトに必要な機能一覧</li> <li>機能優先順位</li> <li>画面遷移図 (画面遷移図が記載されているURL可)</li> </ul> <p>スライド P27-P32 を参照</p>                               |
|            | System Design   | <p>開発に向けて、システムデザインを行う時間です。</p> <p>資料にまとめて(※)メンターのチェックを受けてください。</p> <p>目標：開発に進められる状態。</p> <p>System Design Reviewで決めた分担を元に次の開発のスケジュールを確認。</p>                                                                                            | <p>&lt;資料 必須項目&gt;</p> <p>役割分担等の決定</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>メンバー毎の役割定義</li> <li>メンバー毎のラフスケジュール</li> </ul> <p>チーム開発に必要なもの</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>チーム内の開発ルール</li> <li>システム概要図</li> <li>データフロー</li> <li>言語</li> <li>開発環境</li> <li>フレームワーク</li> </ul> |
|            | Development     | <p>システムデザインで決定した設定に沿って開発する時間です。</p> <p>ポイント：</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>プレゼンでプロダクトの売りになるポイントを発表するので、発表を想定した開発をしましょう。</li> <li>デモ中に想定外の不具合が出ないよう、事前にバグの対処をしましょう。</li> <li>時間内に遅延なく開発が進むよう、チームでスケジュール管理をしましょう。</li> </ul> |                                                                                                                                                                                                                                                                                         |

以下はレシピに関する問題です、順番を入れ替えてから商品に関する問題に挿入するのが良いでしょう。

---

**第11問** 非常食としての缶詰、メリットとして「正しくないもの」はどれでしょう？

---

- ①長期保存がきく
- ②道具を使わずに開けられる
- ③水を用いずに食べられる
- ④保存料や殺菌料を使わずに保存できる

Category：recipe

Keyword：13-109-531

答え：②

解説：缶詰は、保存がきいてそのまま食べることができる非常食の定番です。デメリットは、缶切りがないと開けられない点です。缶切りなしで開けられるプルトップタイプを選んでおくといいでしょう。

---

**第12問** 缶詰と比較して、インスタントラーメンの利点でないものはどれでしょう？

---


- ①味のバリエーションが豊富である
- ②軽量で持ち運びやすい
- ③道具を使わずに開けられる
- ④栄養バランスが良い

Category：recipe

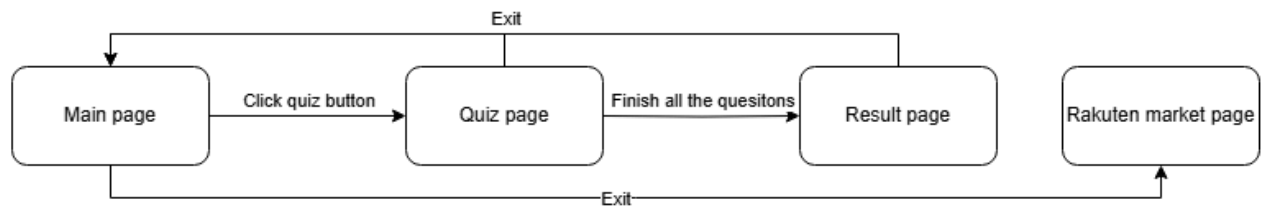
Keyword：13-109-110

答え：④

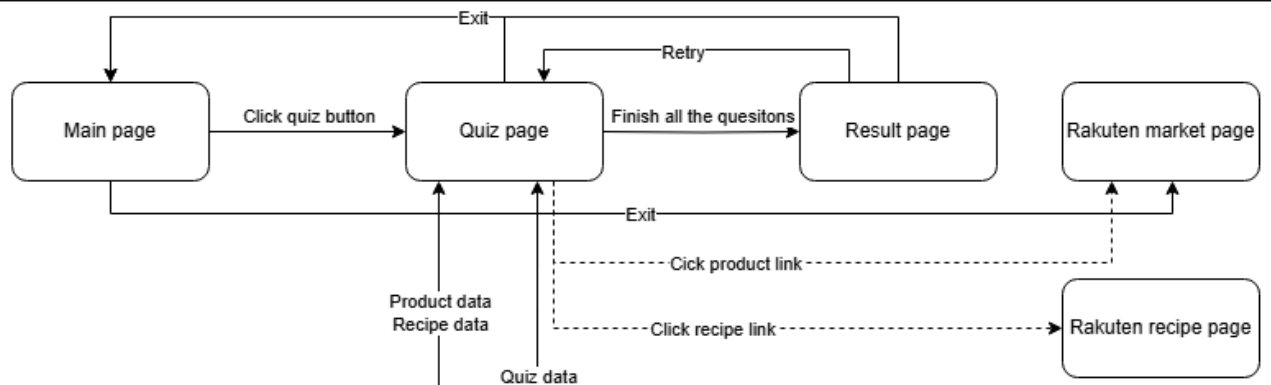
解説：インスタントラーメンは炭水化物が中心で、栄養が偏りやすいです。ビタミンやミネラル、タンパク質が不足しがちであり、長期間の栄養補給には不向きです。缶詰には肉、魚、野菜など、バランスの取れた栄養が含まれているものが多く、インスタントラーメンに比べて栄養補給に優れています。

| プレゼンのルール                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                   | 時間配分                                                                                                                                                                                                                                                            |
|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <ul style="list-style-type: none"><li>・ 資料 &amp; 発表時の言語：英語</li><li>・ ファイル形式・デザイン：指定なし</li><li>・ 全員がひとことは発表してください</li><li>・ 必ずデモをプレゼン中に動かしてください。動画での代用はNGです。</li><li>・ 視聴者がどのチームの発表中か認識できるように、発表資料の右上にチーム番号を入れてください</li><li>・ 各チームいずれかのチームに対して質問をしてもらいます。司会の指示に従ってください。</li></ul> <div>(例) Team-1 </div> | <ul style="list-style-type: none"><li>・ 1チームあたりの持ち時間：20分間<br/>発表：15分    メンターコメント：2分    Q&amp;A：3分</li></ul>                                                                                                                                                     |
|                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                            | <p><b>必須項目</b></p> <p>下記の項目を発表に盛り込んでください<br/>(順不同、項目の追加自由です)</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・ 優先行動テーマ、課題 / Issue</li><li>・ どう解決するか / How to solve</li><li>・ ターゲットユーザー / Target User</li><li>・ プロダクト概要説明 / Product overview</li><li>・ デモの実行</li></ul> |

【ワークフロー】



—————> Directly jump to      - - - - -> Open an external web page



**Rakuten Developers**



[楽天team5.pptx - Microsoft PowerPoint Online \(live.com\)](#)

スライド担当分け及び内容決め

【スライド】～10分

【導入・アプリの概要説明】(4分min)

優先行動テーマ、どう解決するか、ターゲットユーザー→Kaizu

関連技術紹介: フロント(react)、バック(Node.js)、サーバー(MySQL)

【プロダクト概要説明・使用技術説明】

→それぞれが担当

・React・フロント部分のクイズ部分説明やデザイン: Ryuhei Hosoya (2~3分min)

・技術スタック: **Vite**: プロジェクトのビルドツールとして使用。**React (JavaScript)**: フロントエンドフレームワーク。**HTML & CSS**: UIの設計とスタイリング。

・技術選定の理由: **Vite**: 高速なビルドとホットリロードが可能で、開発効率を向上させるため。**React**: コンポーネントベースのアーキテクチャにより、再利用性の高いコードが書けるため、クイズのように複数の画面遷移があるアプリケーションには最適であるため。**HTML & CSS**: シンプルなスタイリングとレイアウト管理のため、Reactとの連携が容易なこれらの技術を選んだ。

- ・各フロントエンド機能の簡単な説明(画像もあれば良い)
  - ・クイズ機能(n択クイズ) デザイン、実装、クイズと解説の作成
    - ・タイトル画面
      - ・「クイズに挑戦」(クイズ問題画面に遷移)、「楽天市場に戻る」ボ

タン

- ・クイズ問題画面
    - ・問題文、選択肢(ボタン)
    - ・選択肢(ボタン)を押したらその問題の正解/不正解、選んだ選択肢、解説が表示。不正解の場合は選んだ選択肢に加えて、本当の正解が表示
    - ・正解/不正解マークは選択肢と被らないように
    - ・選択肢(ボタン)は1度しか押せない
    - ・選択肢を選んだ後に「次の問題へ行く」(ボタン)が表示。最後の問題の場合は「結果を表示」にする
  - ・総合結果画面
    - ・正解数、「もう一度やる」、「タイトルに戻る」ボタン
  - ・関連する商品のリンクをクイズ問題画面の解説部分に表示する
  - ・ポイント付与を総合結果画面に表示
    - ・一定の条件でポイント付与演出が表示
  - ・総合結果画面での問題の振り返り機能
  - ・総合結果画面での問題の振り返り機能

・工夫した点: 色を楽天色中心にした。強調すべき文字にユーザーの心を掴むために楽天色を使用したり、文字を大きくしたりした。正解不正を色を変えて分かりやすくした。アニメーションを選択肢の表示時に追加し、ゲーム感を向上させた。合否、スコアでは少し時間を遅らせて緊張感を演出。ヘッダーに楽天のロゴを追加し楽天サイトの一部であるというイメージをもたせた。レスポンス対応。Reactの状態管理機能(useStateやuseEffect)を活用して、クイズデータの動的な管理とUI更新を行った。ホバー時に色の変更を行い選択しているものを分かりやすくした。

API・各種楽天サービスとの連携: Xu Ziheng (2~3分min)

目標: 楽天のAPIサービスを利用することで、ユーザーは防災に関する知識を得ると同時に、不足している防災グッズを購入したり、防災食のおいしい作り方を学んだりすることができる!

主要機能: クイズの問題に対応するキーワードをパラメータとして楽天のapiを呼び出し、関連する商品やレシピの情報を取得し、ユーザーに表示する

問題点: 1.おすすめ内容をどのような形でユーザーに表示するか

2.レシピのAPI機能の制限

解決策: 1.楽天市場の商品のスタイルを参考にする



2.クイズ問題のキーワードをレシピカテゴリのIDに設定して楽天アプリを呼び出すことができる。

今後の展望:レシピのカテゴリ情報を取得し、LLMのようなツールを使ってキーワードに最も近いレシピカテゴリを自動的に識別し、IDを決定する

SQL・データベース部分:Suzuki Tomohiro (1分min, 暫定約2分)

- ・サーバーサイド(SQL)の紹介、メリット(効率的なデータ管理、ACID特性:説明いらないかも)、技術選定の理由:大規模なクイズデータの追加や管理に対応するため。
- ・データベースの構造:クラス図と属性の説明(questions: id, content, explanation, keyword)(choices: id questionID, content, isAnswer)
- ・バックエンド(Node.js)の紹介、やったこと(SQL内のデータを読み込み、フロントにあうように形式を変更して出力)

【デモアプリ】〜3,4分:Suzuki Tomohiro

- ・タイトル画面:デザイン(楽天市場など楽天のサービスを經由して利用することを想定)
- ・問題1:通常の問題→正解する
- ・問題1解答:正解演出、解答解説の設計(正答が表示)
- ・問題2:通常の問題→誤答する
- ・問題2解答:不正解演出、解答の設計(選んだ解答と正答が表示)
- ・問題3:商品紹介付きの問題
- ・問題3解答:商品紹介の設計(問題のキーワードに基づいて楽天市場から検索)、横スクロール(1度に2個表示でき、横スクロールで5ページまで見れる)、別タブで開く
- ・問題4or5:レシピ紹介付きの問題
- ・問題4or5解答:レシピ紹介の設計:問題に関連した非常食を使った料理レシピを楽天レシピから検索して紹介、別タブで開く
- ・総合結果画面:スコア、ポイント付与演出、振り返り表
- ・もう一度やる:データベースからの問題取得(問題が変わっておりデータベース内からランダムで問題を取得している)
- ・アプリ形式に対応:開発者ツール→デバイスエミュレーションの切り替え(左上)→デバイス: iPhoneXR アプリに合わせて商品紹介のレイアウトや結果表の文字サイズなどを変更

【まとめ・今後の展望】(スライド1,2枚)

- ・AIを用いたユーザの興味の分析、出題
- ・楽天防災  
クイズ以外にも、ユーザの備蓄リスト管理機能や避難経路確認機能を追加する

プレゼン

Hello everyone

質問例

Thank you for your wonderful presentation. I'm ○○ from team 5.

もう少し...について説明してもらえますか？

I would like to know more about

- Could you explain it to me again?
  - もう一度それを説明してもらえますか？
- What do you mean by that?
  - それはどういう意味でしょうか？
- What is the difference between ○○ and □□?
  - ○○と□□の違いは何でしょうか？

【デモアプリ原稿】

I will now show you a demo of our application.

#### **Title Screen:**

This is the title screen. Our logo and title are shown on the left. This App is designed for use through Rakuten services, such as Rakuten Ichiba. The sentence “The more correct answers you get, the more Rakuten points you get!” attracts the attention of users. Let's press the blue button to start the quiz right away.

#### **Question 1:**

This is the quiz screen, showing the quiz question and four choices. I think the Nth choice is probably the correct one for this question, so I'll push it.

#### **Question 1 Answer:**

When the correct choice is selected, a positive feedback animation is displayed, followed by an correct choice and explanation sentence.

**Question 2:**

The second question was displayed next. Now I will try to choose the Nth choice.

**Question 2 Answer:**

When an incorrect answer is chosen, a negative feedback animation is shown. We can see both the selected answer and the correct one, providing a clear comparison.

**Question 3:**

I am going to solve the third question as well. This one seems to be a question about drinking water.

**Question 3 Answer:**

For this question under the explanation sentence, the answer screen is designed to display related products based on the quiz keywords. The products are sourced from Rakuten Ichiba. A horizontal scroll feature allows users to view two products at a time, with the option to scroll through up to five pages. Clicking on a product will open the Rakuten Ichiba product page in a separate tab.

**Question 4 or 5:**

I would like to solve the next problem in the same way.

**Question 4 or 5 Answer:**

The answer screen includes a recipe suggestion that uses emergency food items related to the question. The recipes are sourced from Rakuten Recipes, and clicking on a recipe opens it in a new tab.

**Comprehensive Results Screen:**

This final screen shows the user's score and the Rakuten points awarded. It also includes a review table for users to reflect on their performance.

**Try Again:**

The application gets a new set of questions from the database. In this demo, 5 questions are randomly selected from the database, and the pattern changes each try.

**App Format Compatibility:**

The app can run in a mobile environment such as the iPhone XR as well as on a browser. We have made several modifications for this purpose, for example, adjusting the layout of the product introduction and resizing the text in the results table according to the mobile environment.